

## 発生動向の概況

インフルエンザが増加しています。県内の定点当たり患者報告数は、第 34 週 1.08 人、第 35 週 1.33 人で、流行開始の目安とされる 1.0 人を越えました。これまで患者数の多かった南予に加え、中予でも増加しています。また、0～6 歳の乳幼児の患者割合が増加しています。現在、ほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられ、学校等の再開により、患者数、集団発生数は今後さらに増加すると予想されます。日ごろから体調管理を心がけ、丁寧な手洗い・うがいを徹底するとともに、他の人にうつさないための対策「咳エチケット」を行ってください。ほとんどの方が軽症で回復していますが、基礎疾患のある方や、妊婦、乳幼児、高齢者などは重症化する場合がありますので、特に注意が必要です。また小児で、けいれん・意識障害・異常行動等がある場合は、インフルエンザ脳症の可能性があるので、すぐに医療機関を受診してください。

手足口病とヘルパンギーナ（夏かぜの一種）は、東中予では流行のピークは過ぎたようですが、流行時期の遅かった南予では、乳幼児を中心にやや多発しています。咽頭結膜熱（プール熱）は、県下全域で散發程度の発生で、例年に比べ低いレベルのまま横ばいで推移しています。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が続いています。例年、夏季に増加する傾向があり、今年も 7～8 月に 12 例の届出がありました。食肉やレバーは十分加熱し、肉類の生食は避けましょう。また、感染者から周囲の方への感染を起こさないよう、液体石けん等を使用した十分な手洗いを心がけてください。

## 県内での感染症発生状況

全数把握感染症（結核は除く）

三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例（O157）

五類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例（孤発性）

新型インフルエンザ等感染症

新型インフルエンザ（A/H1N1） 集団発生 31 件（東予 3 件、中予 15 件、南予 13 件）

\*8 月 25 日以降、患者（疑似症含む）の届出が不要になったため、届出数の集計はありません。

定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載）

	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	➡ 1.3	県下全域で発生しており微増。中予、八幡浜地区でやや多発。
咽頭結膜熱	➡ 0.1	東中予で散發程度の発生。
感染性胃腸炎	➡ 3.4	県下全域で発生しており横ばい。
手足口病	➡ 2.1	県下全域で減少傾向。八幡浜地区で多発。
ヘルパンギーナ	➡ 2.3	東中予で減少。八幡浜地区で微増。

解析評価委員のコメントから

インフルエンザ：お盆を過ぎて、少しぼつぼつ発生しています。家族で発症することもあります。まだ新居浜市、西条市、今治市も週に数人ですが、学校が始まったら増えてきそうです。（東予）

8 月下旬より保育所を中心に集団発生が増えていますが、新学期となり幼稚園や小学校などでの流行が始まると思われます。（中予）

手足口病：変わらず発生していますが、大流行ほどではありません。（東予）

かなり減少してきました。（中予）

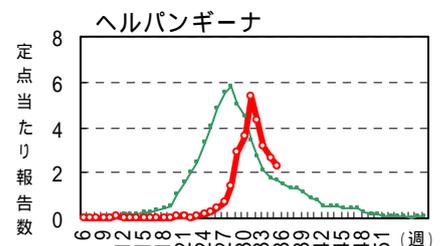
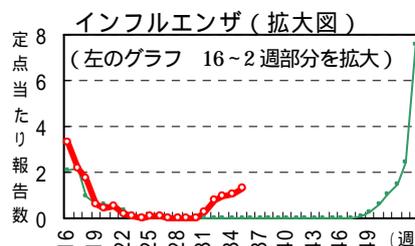
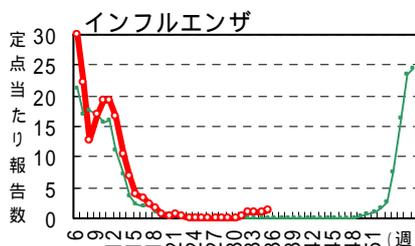
やや増えています。（南予）

ヘルパンギーナ：変わらず発生していますが、増えてはいません。（東予）

散発的に見られる程度です。（中予）

多いです。増加しています。（南予）

過去 30 週の動向（—●—：過去 30 週の動向、—●—：過去 10 年の平均）



（注）本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.jp) までお願い致します。

病原体検出情報

と畜場ブタ血清の日本脳炎ウイルス抗体保有調査は、8月24日採血分ではHI抗体陽性率が80%で、その内2ME感受性抗体が71%でした。県内では、8月に入ってから日本脳炎ウイルスの抗体を保有したブタが急増していることから蚊に刺されないようにするなど注意が必要です。なお、四国の他の3県では、8月7日現在、すでにブタHI抗体陽性率が80%を超えています。

第31週に松山市地区の流行性耳下腺炎患者(6歳)からムンプスウイルスが1例検出されています。

第34週以降、西条、松山、松山市、宇和島地区でインフルエンザと診断された患者(6名)からは、すべて新型インフルエンザが検出されています。また、県内の同時期の集団発生24事例(第34週~35週)からも新型インフルエンザが検出されています。ほぼ県内全域で新型インフルエンザが流行しているものと考えられます。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

HI抗体：ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。  
2ME感受性抗体：最近感染したかどうかわかります。

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 <sup>1)</sup>	2ME感受性抗体	
			検査件数 <sup>2)</sup>	陽性数
7月 1日	10	0	-	-
7月 13日	10	1(10%)	-	-
7月 27日	10	0	-	-
8月 5日	10	1(10%)	1	1(100%)
8月 11日	10	3(30%)	3	3(100%)
8月 24日	10	8(80%)	7	5(71%)

1) HI抗体価は1:10以上を陽性としました。

2) 2ME感受性抗体は、HI抗体価が1:40以上であった検体について検査しました

過去5週 検出病原体

(7月27日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
31	7/27~8/2	西条	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	流行性耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液	1
32	8/3~8/9	西条	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	1
		今治	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	2
		宇和島	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	1
33	8/10~8/16	宇和島	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	1
34	8/17~8/23	西条	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	2
		宇和島	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	1
35	8/24~8/30	西条	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	1
		松山	インフルエンザ	新型インフルエンザ	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月		2009					合計
	3	4	5	6	7	8		
ウイルス	エコー3	1			1			2
	インフルA連	3	1					4
	インフルA香港			1				1
	インフルB	3	1					4
	新型インフルエンザ					1	11	12
	ムンプス		1	2		1		4
	ロタ	7	20	1	1			29
	ノロ	10	7	3	10			30
	サボ	4	7	4	12	1		28
	アデノ	2		1	1			4
	アデノ1	1			1			2
単純ヘルペス1				1			1	
ウイルス計	31	37	12	27	3	11	121	
細菌	下痢原性大腸菌	3	1		5	1		10
	カンピロバクター		1	1				2
	A群溶レン菌	2	6	1	3			12
	肺炎マイコプラズマ		1					1
	細菌計	5	9	2	8	1		25

臨床診断名別検出結果

(2009年6月以降採取検体)

検出病原体	インフルエンザ	溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	流行性耳下腺炎	下気道炎	不明熱	発疹・不明発疹症	合計
エコー3							1	1
新型インフルエンザ	12							12
ムンプス				1				1
ロタ			1					1
ノロ			10					10
サボ			13					13
アデノ			1					1
アデノ1						1		1
単純ヘルペス1					1			1
ウイルス計	12		25	1	1	1	1	41
下痢原性大腸菌			6					6
A群溶レン菌		3						3
細菌計		3	6					9

愛媛県 定点把握五類感染症 2009年 第 35 週 (2009.8.24 ~ 8.30)

	患者報告数	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
		1) インフルエンザ	R S ウイルス感染症	咽頭 結膜熱	A 群 溶血性 連鎖球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水 痘	手足 口病	伝 染性 紅斑	突 発性 発しん	百 日 咳	ヘル パン ギーナ	流 行性 耳下 腺炎	急 性出 血性 結膜 炎	流 行性 角結 膜炎	2) 細菌性 髄膜炎	無 菌性 髄膜炎	3) マイコ プラズ マ肺炎	
保健 所別	四国中央				1	12			2		2		-	-			3		四国中央
	西条	4		2	1	25	5	6	2	6		21							西条
	今治	5			2	7	2	8		3		6		2					今治
	松山市	37		2	8	58	8	19	2	13		29	13	1	-	-	-	-	松山市
	松山	18			3	14	5	6		7		2	2						松山
週 推 移	八幡浜	14				9	1	24		5	1	13	5				1		八幡浜
	宇和島	3			2	2		14		5		11	1						宇和島
愛 媛 県	愛媛県	81		4	17	127	21	79	4	41	1	84	21		6		4		愛媛県
	1週前	66		17	13	164	23	150	1	47		98	39		10		4		1週前
	2週前	57		11	8	114	19	189	3	38		116	37		11		2		2週前
	3週前	50	1	10	15	128	34	240	4	40	1	160	17		14		4		3週前
年 齢 別	0-5ヶ月					5	1			2									0
	6-11ヶ月					13	2	6		20		10						1	1-4
	1	3				29	7	32		17		24	2				1	5-9	
	2	5		2		8	4	23		2		21	1					10-14	
	3	8			1	14	1	8	1			12						15-19	
	4	5		2	3	17	2	7	3			14	8					20-24	
	5	4			4	10	2	2				1	3	1			1	25-29	
	6	6			3	3	1						2					30-34	
	7	5			3	5	1						2					35-39	
	8	2				6			1				1					40-44	
	9	7				6						1						45-49	
	10-14	22			3	6					1	1	2					50-54	
	15-19	5												1				1	55-59
	20-29 <sup>4)</sup>	2				5								1					60-64
	30-39	3												1					65-69
	40-49	2																	70-
	50-59	2												1					
60-69													1						
70-79 <sup>5)</sup>													1						
80-													1						

定点当たり報告数

保健 所別	四国中央			.3	4.0	.7	.7	.7	.7		-	-			3.0		四国中央	
	西条	.4		.3	4.2	.8	1.0	.3	1.0			3.5					西条	
	今治	.6		.4	1.4	.4	1.6		.6			1.2	2.0				今治	
	松山市	2.2		.2	.7	5.3	.7	1.7	.2	1.2		2.6	1.2	.3	-	-	-	松山市
	松山	2.6			.8	3.5	1.3	1.5		1.8		.5	.5					松山
愛 媛 県	八幡浜	2.0			2.3	.3	6.0		1.3	.3	3.3	1.3	3.0			1.0		八幡浜
	宇和島	.4			.5	.5	3.5		1.3		2.8	.3						宇和島
愛媛県	1.3		.1	.5	3.4	.6	2.1	.1	1.1	.0	2.3	.6	.8		.7		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。  
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は9月2日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2009年 第 34 週 (2009.8.17 ~ 8.23)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
			R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎
保健所別	四国中央	3		2	1	12	1			3		4		-	-			1		四国中央
	西条	4		2	2	36	7	7		15		18	10		2					西条
	今治	7			2	17	3	19	1	8		10	1		3			2		今治
	松山市	16		12	3	71	9	49		9		46	15		1	-	-	-	-	松山市
	松山	6		1	3	12	1	22		6		2	8		2			1		松山
	八幡浜 宇和島	19 11			1 1	9 7		40 13		3 3		7 11	4 1		2					八幡浜 宇和島
週推移	愛媛県	66		17	13	164	23	150	1	47		98	39		10			4		愛媛県
	1週前	57		11	8	114	19	189	3	38		116	37		11			2		1週前
	2週前	50	1	10	15	128	34	240	4	40	1	160	17		14			4		2週前
	3週前	15		17	16	156	23	244	4	43	15	200	41		16		1	7		3週前
年齢別	0-5ヶ月					4		2				1								0
	6-11ヶ月			2		13	2	15		28		8								1-4
	1	1		4		21	8	36		18		25	2					3		5-9
	2	3		3		24	8	50		1		24	9					1		10-14
	3	4		1	1	19	2	17				17	9							15-19
	4	4		2	5	14		13				9	5							20-24
	5	9		2	3	14	1	8				5	5							25-29
	6	6			1	8	1	2				3	1							30-34
	7			1	1	15	1						3							35-39
	8	3		1	1	2		1				3	1							40-44
	9	4		1		5		1				3	1							45-49
	10-14	6				21							3		1					50-54
	15-19	12						4												55-59
	20-29 <sup>4)</sup>	8			1	4		1	1											60-64
	30-39	1													4					65-69
	40-49	1													1					70-
50-59	1													4						
60-69	2																			
70-79 <sup>5)</sup>																				
80-	1																			

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	.6	.7	.3	4.0	.3			1.0		1.3		-	-			1.0		四国中央	
	西条	.4	.3	.3	6.0	1.2	1.2		2.5		3.0	1.7		2.0					西条	
	今治	.9		.4	3.4	.6	3.8	.2	1.6		2.0	.2		3.0			2.0		今治	
	松山市	.9		1.1	.3	6.5	.8	4.5		.8		4.2	1.4		.3	-	-	-	-	松山市
	松山	.9		.3	.8	3.0	.3	5.5		1.5		.5	2.0		2.0			1.0		松山
	八幡浜 宇和島	2.7 1.6			.3	2.3		10.0		.8		1.8	1.0		2.0					八幡浜 宇和島
愛媛県	1.1		.5	.4	4.4	.6	4.1	.0	1.3		2.6	1.1		1.3			.7		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。  
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。



全国 定点把握感染症 第33、34週 (2009.8.10 ~ 8.23)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	
33週	愛媛県	.9		.3	.2	3.1	.5	5.1	.1	1.0		3.1	1.0		1.4			.3		
	近畿県	香川県	1.8	.1	.1	.3	3.3	.8	1.2	.1	.6		2.8	.3					.4	
		徳島県	1.1	.0	.3	.4	2.6	1.4	1.7		.5	.0	1.6	.4						
		高知県	2.1		.2	.3	2.3	.8	.3	.0	.5	.0	.4	1.0	.3	1.3			.4	.3
	全 国	1.7	.1	.2	.4	2.2	.5	1.2	.1	.6	.0	1.8	.7	.0	.5	.0	.1	.4	.0	
	北海道	.3	.3	.6	.6	.9	.9	.3	.0	.4	.0	.6	.5		.7		.0	.2		
	東北	1.2	.1	.2	.5	1.9	.5	1.4	.1	.6	.0	.8	.8		.3		.0	.6		
	関東	1.7	.0	.1	.4	1.8	.3	1.4	.1	.5	.0	1.2	.7	.0	.5	.0	.1	.4	.1	
	甲信越北陸	1.0	.0	.3	.6	2.2	.5	.8	.0	.5		2.9	.7	.0	.4		.0	.4		
	東海	1.3	.0	.1	.4	2.1	.5	.7	.1	.5	.0	2.5	.5	.0	.2	.0	.1	.4		
近畿	1.8	.1	.1	.3	2.2	.5	.7	.0	.5	.0	2.5	.6		.5	.0	.0	.3			
中国四国	1.0	.0	.2	.4	3.0	.6	1.2	.1	.6	.0	2.3	.5	.0	.6	.0	.1	.4	.0		
九州沖縄	3.5	.1	.2	.5	3.0	.7	2.8	.1	.7	.1	1.6	1.1		.7	.0	.1	.3	.0		

(2009.8.19集計)

34週	愛媛県	1.1		.5	.4	4.4	.6	4.1	.0	1.3		2.6	1.1		1.3			.7		
	近畿県	香川県	1.9	.3	.2	.3	2.8	.4	1.0	.0	1.1		3.2	.3		.3		.2		
		徳島県	2.8	.0	.1	.2	3.0	1.3	1.7		.5		1.1	.8						
		高知県	2.4		.2	.4	2.4	.8	.7	.0	.8	.1	.6	.6					.1	
	全 国	2.5	.1	.2	.5	3.0	.6	1.3	.1	.7	.0	1.6	.8	.0	.7	.0	.0	.3	.0	
	北海道	.8	.2	.3	.9	1.2	.6	.7	.1	.6	.0	.5	.5		.3			.2		
	東北	1.4	.2	.1	.6	2.4	.7	1.5	.0	.7	.0	1.1	.6		.5	.0	.1	.5		
	関東	2.5	.1	.1	.5	2.5	.4	1.4	.2	.6	.0	1.0	.8	.0	.8	.0	.0	.4	.1	
	甲信越北陸	1.6	.1	.4	.6	3.1	.7	1.0	.0	.6		3.1	.8		.6			.2	.1	
	東海	1.9	.1	.1	.4	3.0	.4	.5	.1	.7	.0	1.8	.6	.0	.3			.5	.1	
近畿	2.3	.1	.1	.4	3.1	.6	.7	.1	.6	.0	1.9	.7		.6	.0	.0	.2			
中国四国	1.4	.1	.2	.6	3.6	.5	1.2	.1	.8	.0	2.2	.6		.9	.0	.0	.2	.0		
九州沖縄	5.6	.2	.2	.6	4.2	.8	2.7	.1	1.0	.1	1.5	1.6		1.1	.0	.0	.3	.0		

(2009.8.26集計)

1) 鳥インフルエンザは除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。

